

6 アンケート集計結果

講演会の意向

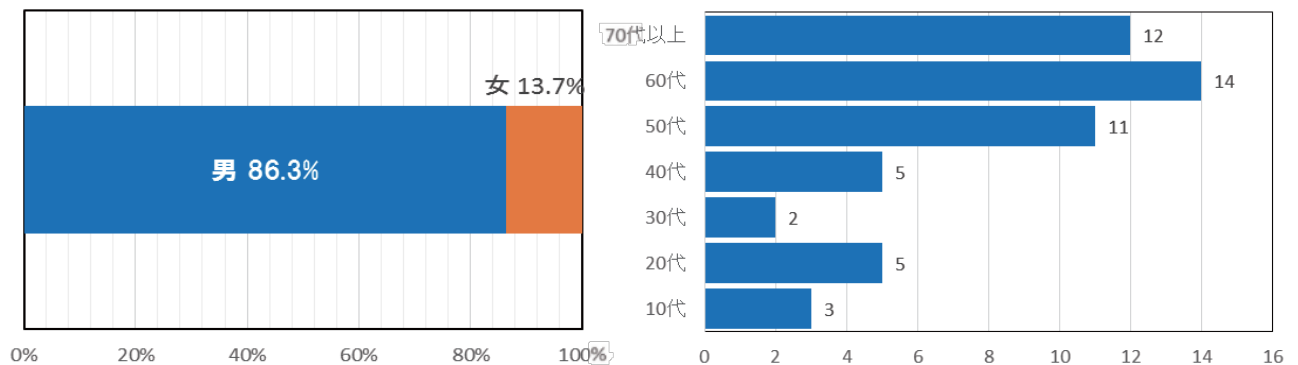
1 アンケートの概要

- ①目的：今後のフォーラムの参考とするために講演会参加者にアンケート調査を実施した。
- ②回収：配布数 124枚 回収数 52枚 回収率42%

2 単純集計

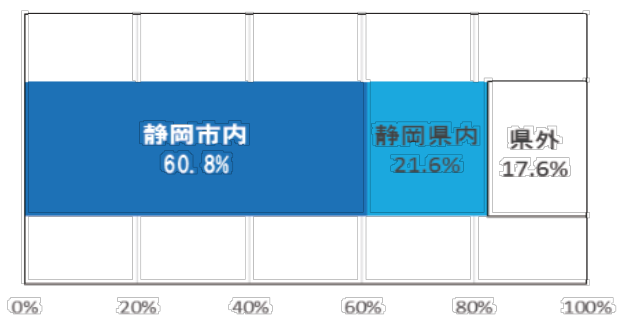
【プロフィール】

- ①性別 回答者の多くは「男」で全体の約87%であった。
- ②年代 回答者は「60代以上」が26人で50%と年齢層が高い。



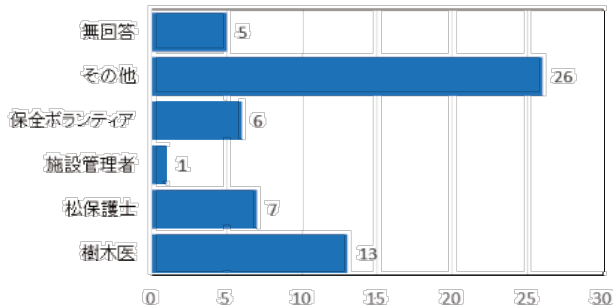
- ③住まい 「静岡市内」と回答した人が31人、約61%であった。
静岡市以外は次のとおりである。

- ◆静岡県内（下田市、富士市、藤枝市、島田市2、磐田市、浜松市、長泉町）
県外（東京都、千葉県、茨城県、栃木県、愛知県、山形県、福井県、滋賀県）



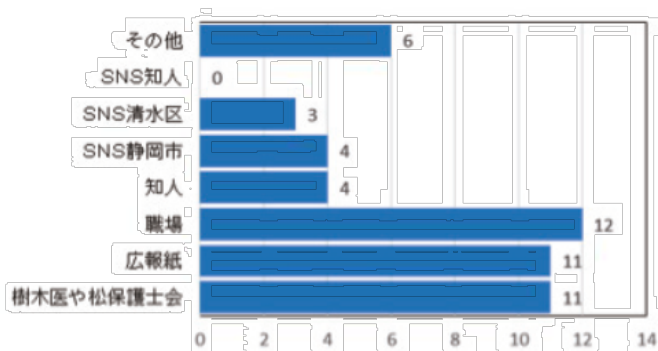
6 アンケート集計結果

- ④松原・樹木との関わり（複数回答） 回答者は「その他」を除いて、「樹木医」が13人と多い。
 その他の回答者は地元・自治会 3、一般、学校・教員 3、学生 3、コンサルタント 2、行政 2、造園関係、樹木診断、第三セクター、仕事であった。

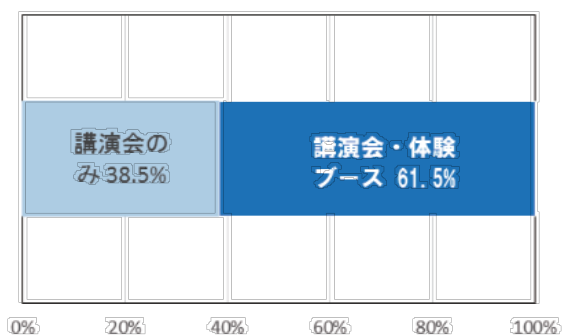


【参加について】

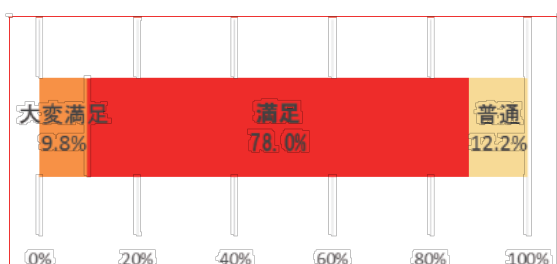
- ①開催の広報媒体：「職場、樹木医会や松保護士会、広報紙」と回答した人が多く、全体の6割を占めた。



- ②参加内容：「講演会」と「体験ブース」両方に回答した人が32人、約62%であった。

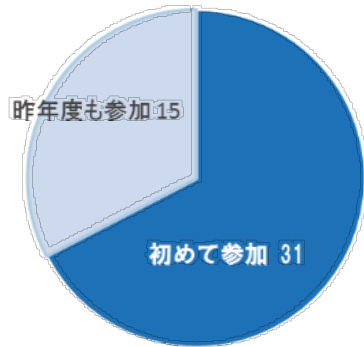


- ③全体の満足度：「満足」と回答した人が全体の78%を占め、大変満足を含めると約88%であった。



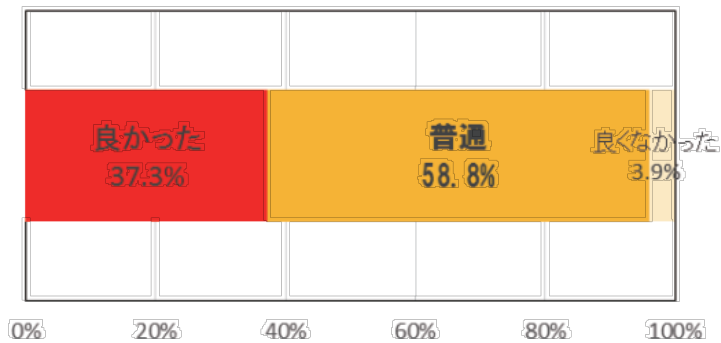
6 アンケート集計結果

④参加経験：「初めて参加した」と回答した人が31人、約67%であった。

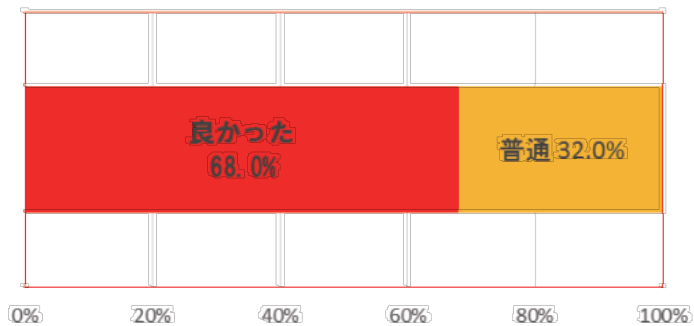


【講演会について】

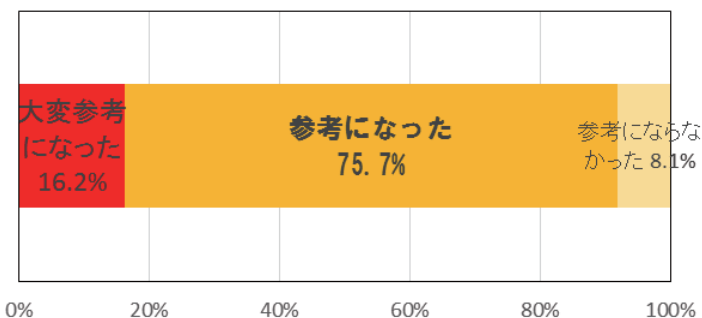
①会場のアクセス、設備：「普通」と回答した人が30人、約59%であった。会場が寒いと感じた人が多かった。



②基調講演について：「良かった」と回答した人が34人、68%であった。

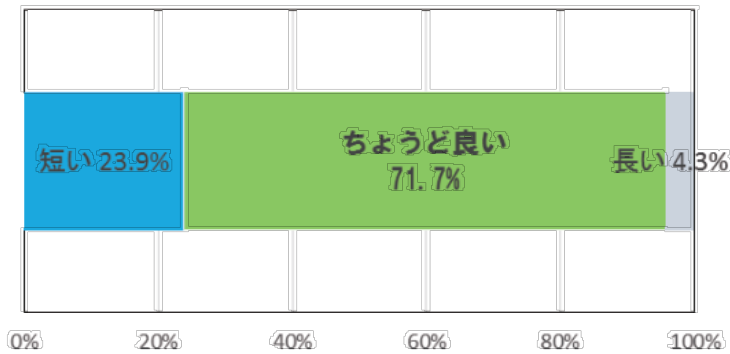


③質疑応答：「参考になった」と回答した人が28人、約76%、「大変参考になった」と併せると、約92%であった。・質問が取り上げてもらえず趣旨に合わない質問がとりあげられ残念。ホームページでの回答を楽しみにしている。



6 アンケート集計結果

④時間：「ちょうど良い」と回答した人が33人、約72%であった。

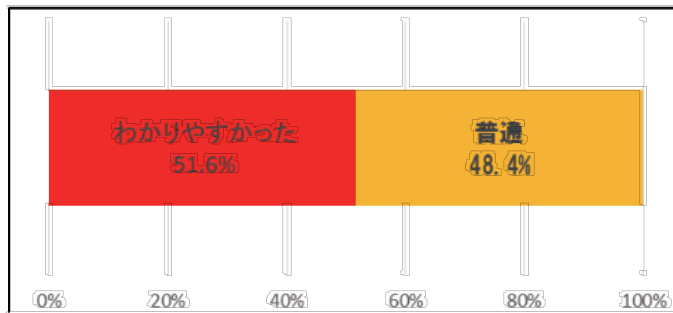


⑤今後希望するテーマや内容について

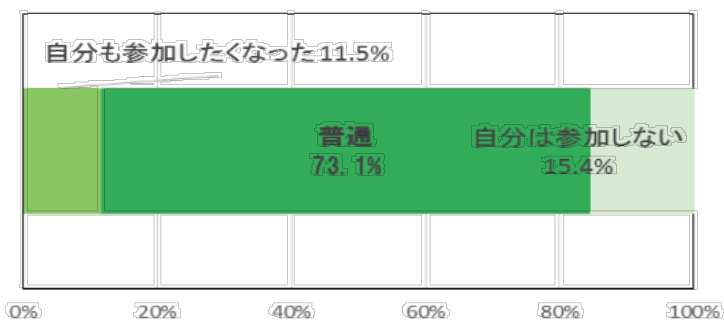
- ・ 樹木の太木化、老齢化による倒木防止の伐採と予算確保について
- ・ 保全活動を行う人や組織と行政の連携について
- ・ 絞ったテーマで講演、・ 白砂青松砂をテーマにした内容
- ・ 松の手入れについて
- ・ 松林の持続的な保護育成の手法について

【松原保全体験ブースについて】

①マツ材線虫病について：「わかりやすかった」と回答した人が16人、52%、「普通」と回答した人が15人、約48%であった。「難しかった」と回答した人は無かった。



②三保松原での活動について：「普通」と回答した人が19人、約15%であった。



6 アンケート集計結果

③その他ご意見

- ・三保松原の松材線虫病の広範に亘る被害についてはメディアを通じて知って、すでに、三保地区の環境保全や観光支援に参画しています。
- ・常に見守り、管理が必要であると感じた。

【三保松原の保全・活用についての感想・意見・提案】

●感想等

【知識を得て勉強になった】

- ・常に変化があり、難しいと思うが、勉強等はしておいた方が良いと思う。
- ・勉強になりました。改めて関心を持ちました。
- ・知らないこともあり、内容は良かった。(松の外観は良くても、内部が分からない場合がある)

【活動内容等が理解できた】

- ・関係の方々の尽力が良くわかり、良かったです。
- ・三保松原は初めてで、良く見聞き参考にさせていただきます。
- ・松原フォーラムに参加させていただき良かった。
- ・今日の対策とその成果について、市の当局の説明を伺い、対策努力がここに来て急速に成果を収めていることを知り、敬意を表します。
- ・体験ブースでは実物の展示があり興味深かった。

●会場の設備環境について

- ・マイクの音が小さくて聞きづらかった。(2人)
- ・会場に暖房が効いておらず、特に後半は寒かった。暖房が入っていると良かった。(4人)

●講演について

- ・一人の話が短いので、講演者が3人でもよかった。
- ・講演内容がかぶっていたので、事前に話す内容を確認し、異なる内容を話してもらえると、多くの情報が生徒に伝わると思う
- ・講師の方の資料が長い講演時の資料だと思われ、駆け足での講演のような気がした。
- ・内容の割に時間が無い、時間配分の工夫を

●今後の取組・提案

- ・各講師のパワーポイントデータを配布していただきたい。有益な情報が多く、それらが参考になるので、持ち帰りたかった。資料代として500円くらい徴収してもよいので、次回から配布してもらいませんか。
- ・若い世代が今後やっていけること、参加していけることをもっとアナウンスして欲しい。

6 アンケート集計結果

①樹木の健康管理に市の「シルバーセンターの植木屋（剪定職者）の力を活用したらどうか？

市民の家庭で植木の整備に、シルバーセンターの植木屋さんが広く活躍されている。

すでに、役立たれていると思うが「松の木の健康管理」の知識を技術研修にまで深め、松にとどまらず、市の広い範囲内の樹木の健康増進に力を発揮していただたらどうか。

シルバーセンターの植木屋さんは、樹木が好きで、熱心で、勉強家の人が多い。

②行政の生垣推奨樹木の調査が必要か？

かつて、旧清水市での生垣推奨樹種が「貝塚イブキ」と「サング樹」だった時期があり、旧静岡市の南部桃園町では、「桃の木」の害虫を媒介するカミキリムシが貝塚イブキに産卵するので、貝塚イブキの植樹が禁じられていた。現在は、静岡市となっているので、統一した内容になるようこれらを調整し、推奨樹木の推進をして欲しい。

・地元住民が主体となって、保護育成を継続できる体制をとっていただきたい。

普段から清掃活動を行っておられる団体の皆さまに敬意を表します。

・三保に住んでおり、散歩中に真っ赤に枯れた松を見かけますが大丈夫でしょうか？

・悪い所を発見した時、どこに言った良いのか窓口を明確にしてほしい欲しい。



平成31年2月
第2回 松原フォーラム
松原フォーラム実行委員会